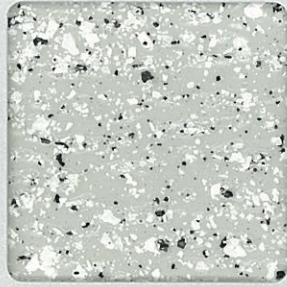
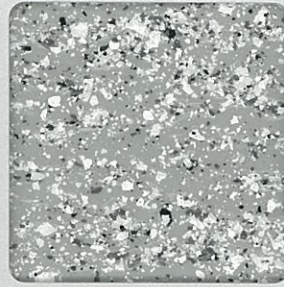


ダイヤアークトーンローラー用

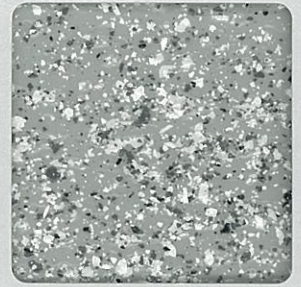
標準色
standard colors



↑ TU-21



↑ TU-22



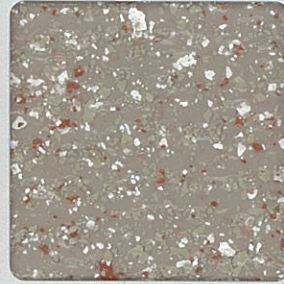
↑ TU-35



↑ TU-33



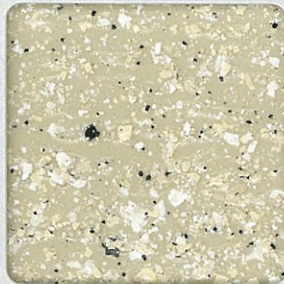
↑ TU-34



↑ TU-37



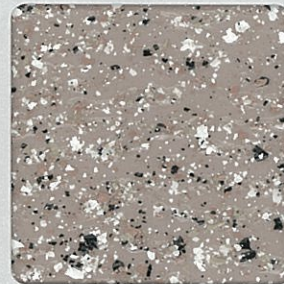
↑ TU-27



↑ TU-38



↑ TU-26



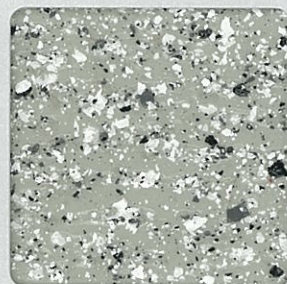
↑ TU-28



↑ TU-32



↑ TU-31



↑ TU-23



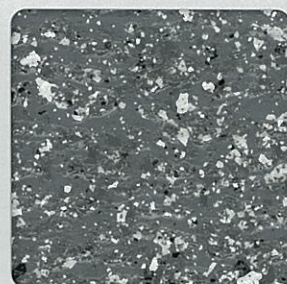
↑ TU-24



↑ TU-30



↑ TU-25



↑ TU-36



↑ TU-29

※サンプルは紙に塗装してある為、見本と実際の仕上がり色とは多少異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

標準仕様

工程	材料	希釈割合	所要量	塗回数	乾燥時間		施工用具	
					工程内	工程間		
1	下地調整	(1) 素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レイタンス等を完全に除去して下さい。 (2) 素地のpH10以下（水分10%以下）で施工して下さい。 (3) 雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。 (4) 脆弱層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。 (5) チョーキングは、脆弱部をサンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。 (6) 目地部に仕上塗材の施工が予定される場合、ノンブリード系のシーリング材をご使用下さい。 また、汎用シーリング材を使用する場合は、シリコン系の使用は避け、その他のシーリング材の上には、可塑剤移行防止のバリヤプライマーUを施して下さい。 (7) 塗付け面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。						
2	下塗 ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg	0.1~0.2kg/m ² 75~150m ² /缶	1	—	2時間以上	刷毛 中毛ローラー	
3	中塗 ダイヤアーバントーン中塗 無希釈	16kg	0.1~0.16kg/m ² 100~160m ² /缶	1	—	2時間以上	刷毛 中毛ローラー	
4	上塗 (1回目) ダイヤアーバントーン上塗ローラー用 無希釈	18kg	0.3~0.35kg/m ² 51~60m ² /缶	1	—	4時間以上	MCローラー (専用ローラー)	
5	上塗 (2回目) ダイヤアーバントーン上塗ローラー用 無希釈	18kg	0.3~0.35kg/m ² 51~60m ² /缶	1	—	—		

※ダイヤワイドシーラーの代りにダイヤワイドシーラーホワイトを用いることもできます。

※間隔時間は、温度23℃、湿度50%の場合です。冬季、夏期では、温度、湿度によって間隔時間にかなりの差異がありますので注意して下さい。

※下地の形状・部材により、施工できない場合がありますので別途お問い合わせ下さい。

■施工・管理上の注意

- セメント質下地は、表面の含水率が10%以下（pH10以下）になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- 材料が付着乾燥しますと取れませんが、塗布面周辺の養生を完全に行い、施工時建物の周辺に飛散しないようにして下さい。養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。また、施工後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃してください。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残ります。
- 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- 金属下地及び釘頭などの上に施工する場合、必ず防錆処理を行って下さい。
- 施工にあたっては同一ロット、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
- 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨（雪）養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
- 施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 低温、高湿度、風通しの悪い場合に白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- 工程間隔時間は充分取って下さい。
- 材料の有効期間は密封保存で6ヶ月以内ですが、早めに使用して下さい。
- 材料の保管は気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- シーリング材の上に施工する場合は、シーリング材の種類、材質によって汚染するまたは不適合が発生する場合があります。
- 本施工に入る前に試験施工を行い、ローラーの運行、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。
- 色は中塗材、上塗材とセット色になっておりますので注意して下さい。
- 塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
- 下地の吸込ムラにより色彩のムラが発生する場合があります。
- 本塗材は高速で回転する電動攪拌機を使用すると模様の粒子が破壊されますので避けて下さい。
- 足場跡などのタッチアップを行う際には、下塗材、上塗材ともに刷毛を使用し、できるだけ周囲となじませるように材料を塗布して下さい。
- MCローラーは、あらかじめ湯や水に浸して柔らかくなってから使用して下さい。
- 上塗1回目はローラーが滑りやすいので、無理に材料を伸ばさないようにして下さい。また、凹凸の大きい下地では、うまく仕上がらない場合がありますので、あらかじめ試験塗りをして、仕上げ状態を確認して下さい。
- 上塗は1回塗りだけではムラが残りますので、必ず2回塗りして下さい。
- アーバントーンローラー用は薄膜の仕上材ですので塗装下地の補修跡等を隠蔽する効果はありません。下地の状況に応じて必要な策を講じて下さい。
- 施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認ください。

■安全衛生上の注意

- 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- 取扱いは、手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 作業中・作業後は充分換気を行って下さい。
- 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診断を受けて下さい。
- 臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

安全にご使用いただくためのお願い

この見本帳に記載の商品を取り扱う際には、各商品の容器に表示されている注意事項をよく守って下さい。施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認ください。

この見本帳に記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。この見本帳の使用有効期限は、2022年8月ですのでそれ以降のご使用は避けて下さい。



株式会社 ダイフレックス

DYFLEX

〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル

☎ (03) 5322-7020 FAX. (03) 5322-7021

URL <http://www.dia-dyflex.jp>

※ 全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お気軽にお問い合わせ下さい。

取扱店